

西洋史概説 I

科目ナンバリング HEA-101
選択必修 2単位

石川 敬史

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、「西洋とは何か」について、受講者各人が自分自身の識見を修養することを目的としています。私たちが身をおく、現代の国家システム、あるいは基本的人権のような法概念や、民主主義といった政治思想、さらには大学制度といったものは、西洋の歴史的文脈から多分に偶然生まれたものでした。この授業では、「西洋という規範」がどのような歴史的経緯から形成されてきたのかを学修します。(※大学での学びを「学修」といいます)

西洋史は多くの場合、古代・中世・初期近代・近代と便宜上区分されますが、この西洋史概説 I では、古代から中世の終わりに位置するルネサンスまでを射程とします。

2. 授業の到達目標

人間や社会のあり方を幅広く俯瞰的にみるための見識を獲得し、それを他者に説明できるようになる。
自分が読むべき本を独自の判断で選択できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

二回の小テストによる評価20%

本授業最終日に行う論述式試験による評価80%

※小テストの時期については、授業の進行状況によって調整が必要となるため、授業内で指示します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定せず、講義毎にレジュメ・資料を配布する。

その他、参照すべき文献は、授業で適宜紹介する。

参考文献

宇野重規 『西洋政治思想史』(2013年) 有斐閣

5. 準備学修の内容

前の講義時に配布したレジュメ・資料の内容を確認しておく。

何を理解し、何が分からなかったかを明らかにしておく。

授業で紹介した文献の該当箇所を読んでおく。

6. その他履修上の注意事項

高校までの世界史の授業とは大きく異なるので、まずは復習を中心に学修をしておくことを勧めます。

質問は随時受け付けますので、積極的な姿勢で授業に臨むことを願います。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
本講義の概要と意義、学修方法について詳細な説明を行う。
- 【第2回】 古代ギリシャの歴史と思想(1)
1.古代ギリシャにおける政治と哲学
2.アテナイ人の価値観と民主主義
- 【第3回】 古代ギリシャの歴史と思想(2)
1.ソクラテスとは何者か
2.プラトンの政治哲学
3.アリストテレスの政治哲学
- 【第4回】 古代ローマの歴史と思想
1.ギリシャ的なものとローマ的なもの
2.ヘレニズム文明の思考様式
3.ポリビュオスの政体循環説と混合政体論
4. 帝政ローマの社会思想
- 【第5回】 古代ギリシャ・ローマ世界についてのまとめ
小テスト(30分)
- 【第6回】 キリスト教の誕生と展開(1)
1.ヘブライズムと一神教
2.キリスト教の誕生
3.民族宗教と世界宗教
- 【第7回】 キリスト教の誕生と展開(2)
1.教父哲学と神学の誕生
2.アウグスティヌスの神学と政治思想
- 【第8回】 中世ヨーロッパの歴史と思想
1.滅びるローマと生き残るキリスト教会
2.キリスト教普遍世界の構造と論理
3.スコラ哲学とトマス・アキナス
- 【第9回】 中世ヨーロッパ世界についてのまとめ
小テスト(30分)
- 【第10回】 ルネサンスと宗教改革(1)
1.キリスト教普遍世界が解体した契機について
2.中世ヨーロッパについての総括
- 【第11回】 ルネサンスと宗教改革(2)
1.ルネサンスとは何か
2.ヒューマンイズムの諸展開
- 【第12回】 ルネサンスと宗教改革(3)
1.シヴィック・ヒューマンイズムの登場
2.マキャヴェッリの政治思想

【第13回】 ルネサンスと宗教改革(4)
1.宗教改革とは何か
2.正統と異端
3.様々な異端

【第14回】 ルネサンスと宗教改革(5)
1.ルターの宗教改革
2.カルヴァンの宗教改革
3.世俗君主の台頭

【第15回】 授業の総括
試験(60分)